

【授業力向上推進プロジェクト】

事例② 高齢者の生活と福祉

人生100年時代に生きる 私たちの未来を拓く

～高齢社会を自分事として捉えるための実践的・体験的な学習活動の工夫～

【発表内容】

- 1 研究のねらい
- 2 地区研究のあゆみ
- 3 本校の研究実践
- 4 まとめと今後の課題

I 研究のねらい

- ・高年齢期の学習を通して自分事と捉えさせる、

実践的・体験的な学習活動の工夫

- ・ICTを活用した授業の工夫



2 地区研究のあゆみ

6月 研究テーマ、内容について確認

7月 講演会（会場：岐阜総合学園高等学校）
「介護予防事業、介護保険制度、日常生活
自立支援事業について」

11月 研究授業（会場：羽島高等学校）
研究協議

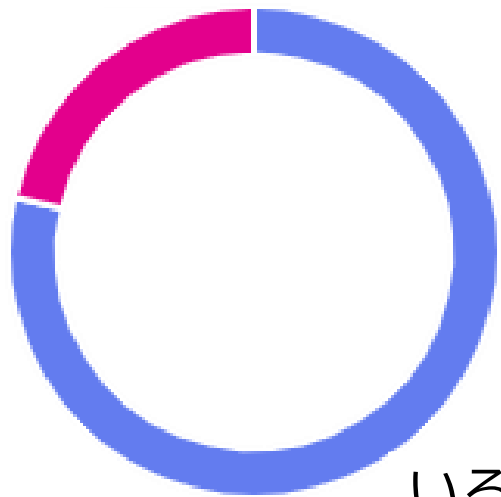
3 本校の研究実践

- (1) 実態把握
- (2) 単元計画
- (3) 授業実践
- (4) 地域活動

(Ⅰ) 実態把握

身近に高齢者は
いますか？

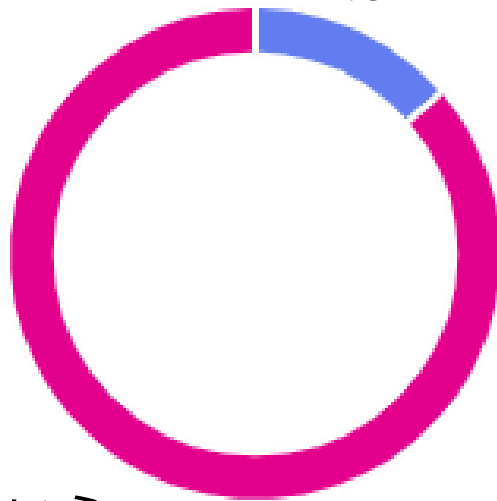
いない 21%



いる 79%

高齢者と一緒に
生活していますか？

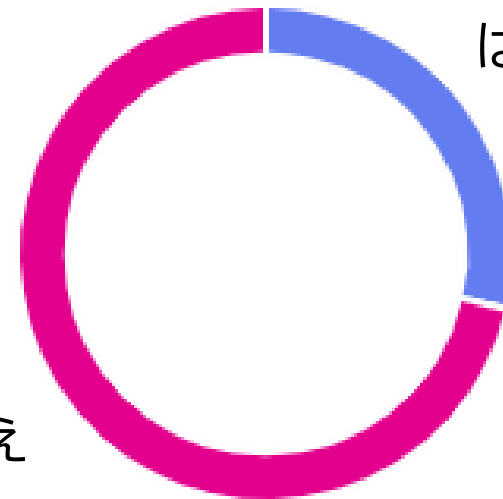
はい 14%



いいえ
86%

高齢期について
関心はありますか？

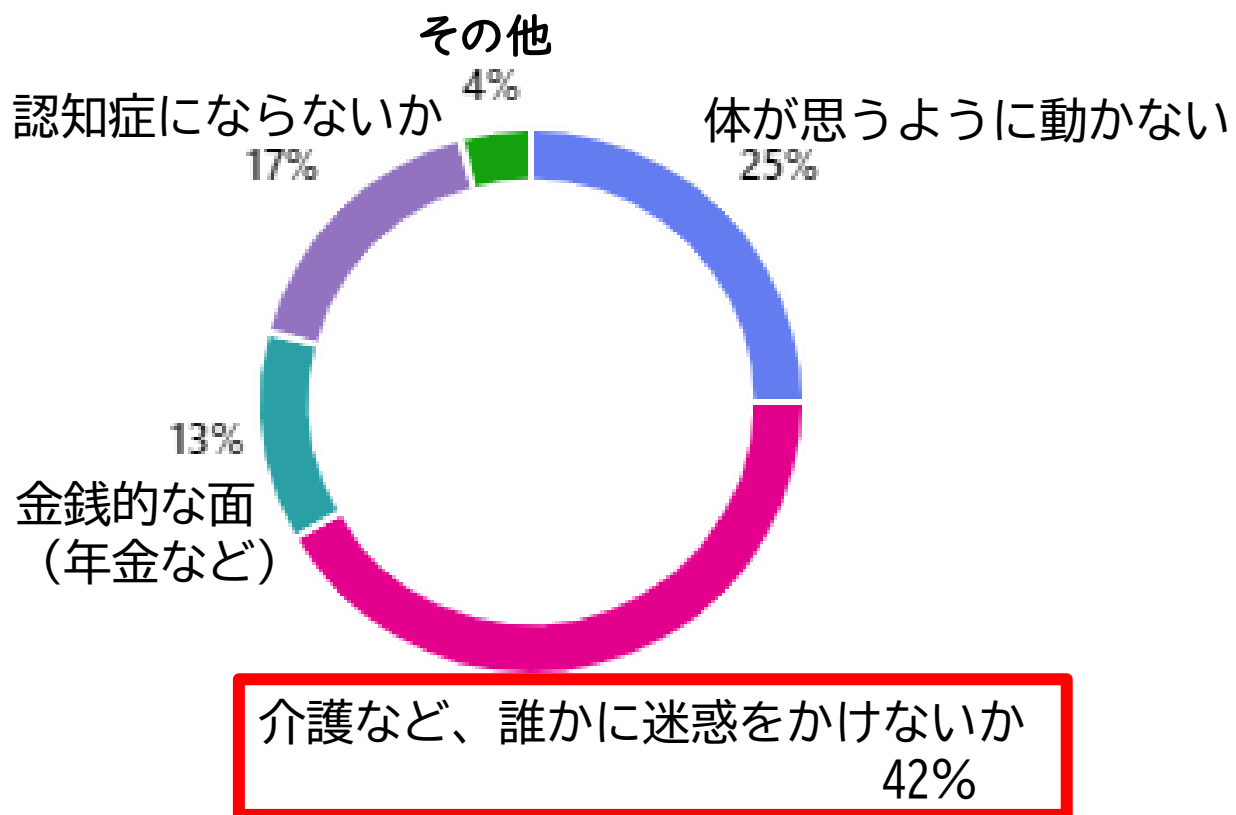
はい 29%



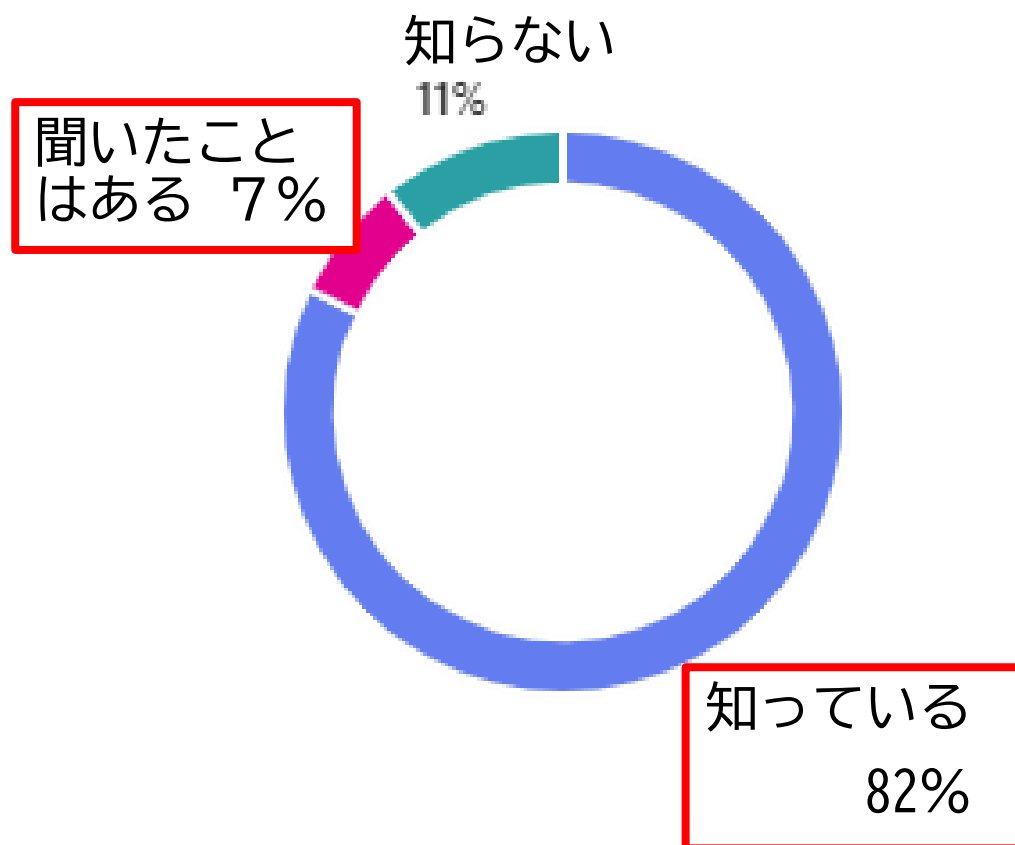
いいえ
71%

身近に高齢者がいても、同居しているわけではなく、コミュニケーションを取る機会もない。関心もない。

高齢者になった時、
何が心配ですか？



認知症を知っていますか？



認知症について知っていること

記憶力の低下、深夜徘徊がほとんど

1 班

記憶があいまい 家族のこと忘れる
食ったこと忘れる ついさっきした
こと忘れる
同じ過ちを繰り返す 日にち忘れる

2 班

じいちゃん 認知症でし
た。

深夜徘徊

オレオレ詐欺に引っかか
る。

宗教肝勧誘

眼鏡どこ

3 班

すぐ忘れる
人の顔を忘れる
治らない
短気
介護が大変

4 班

記憶力が悪い
すぐ忘れる

深夜徘徊

同じこと何回もする
新しいことを覚えられない
おもらしする

5 班

- ・ 深夜徘徊
- ・ 記憶力がない
- ・ 顔や声を忘れる
- ・ 何度もおんなじことをする
- ・ 道を忘れる
- ・ 情緒が不安定になる

6 班

- ・ 深夜徘徊
- ・ 孫のことを忘れる
- ・ 朝ごはん食べたことを忘れる
- ・ 昼ごはん食べたことを忘れる
- ・ 夜ご飯食べたことを忘れる
- ・ 薬飲むことを忘れる
- ・ 重い病気

(2) 単元計画

【単元を貫く課題】

高齢者の心身を理解し、高齢者とともに支え合いながら生きていくために、今の自分に何ができるかを考える。

(2) 単元計画

- 1 高齢化の現状、超高齢社会の課題
- 2 高齢期の健康と生活（寿命・フレイル）
- 3 高齢期の心身の変化（高齢者疑似体験）
- 4 認知症について【研究授業】
- 5 安心できる暮らしを支える（支援・年金）

3 本校の研究実践 (3) 授業実践 1 時間目

高齢期をあなたはどのように過ごしたい？

1班

のんびり過ごしたい
お金に困らない生活
介護してくれる人がいる
好きなこととして過ごす
好きな人と過ごしたい
オタク活動続けたい

4班 ばあになっても貢いでね 

- ・年金で田舎でのんびり過ごしたい
- ・孫に囲まれて、息子たちに介護されて、
- ・元気に健康的に過ごしたい
- ・自由に気ままに過ごしたい
- ・穏やかに過ごしたい

2班

健康に過ごす
居間で茶を啜る
お菓子を食いたい
孫と遊びたい
歯のトレーニング

5班

- ・穏やか
- ・のんび
- ・健康的
- ・お金に
- たい

普通に寝て過ごす
年金でゲーセン行き
3班

【全体で出てきた共通の内容】

- ・のんびり穏やかに過ごしたい
- ・元気に健康でいたい
- ・年金で生活
- ・お金に困らずに過ごしたい

老老介護・高齢者を狙った犯罪被害に対して、 「今の自分ができることを考えよう！」

①70代祖母が80代祖父を介護。

二人暮らしの老老介護で祖母も大変。どんなことができる？



- ・ 施設に預ける
- ・ ヘルパーに来てもらう
- ・ デイサービス
- ・ 執事を雇う
- ・ 老人ホーム

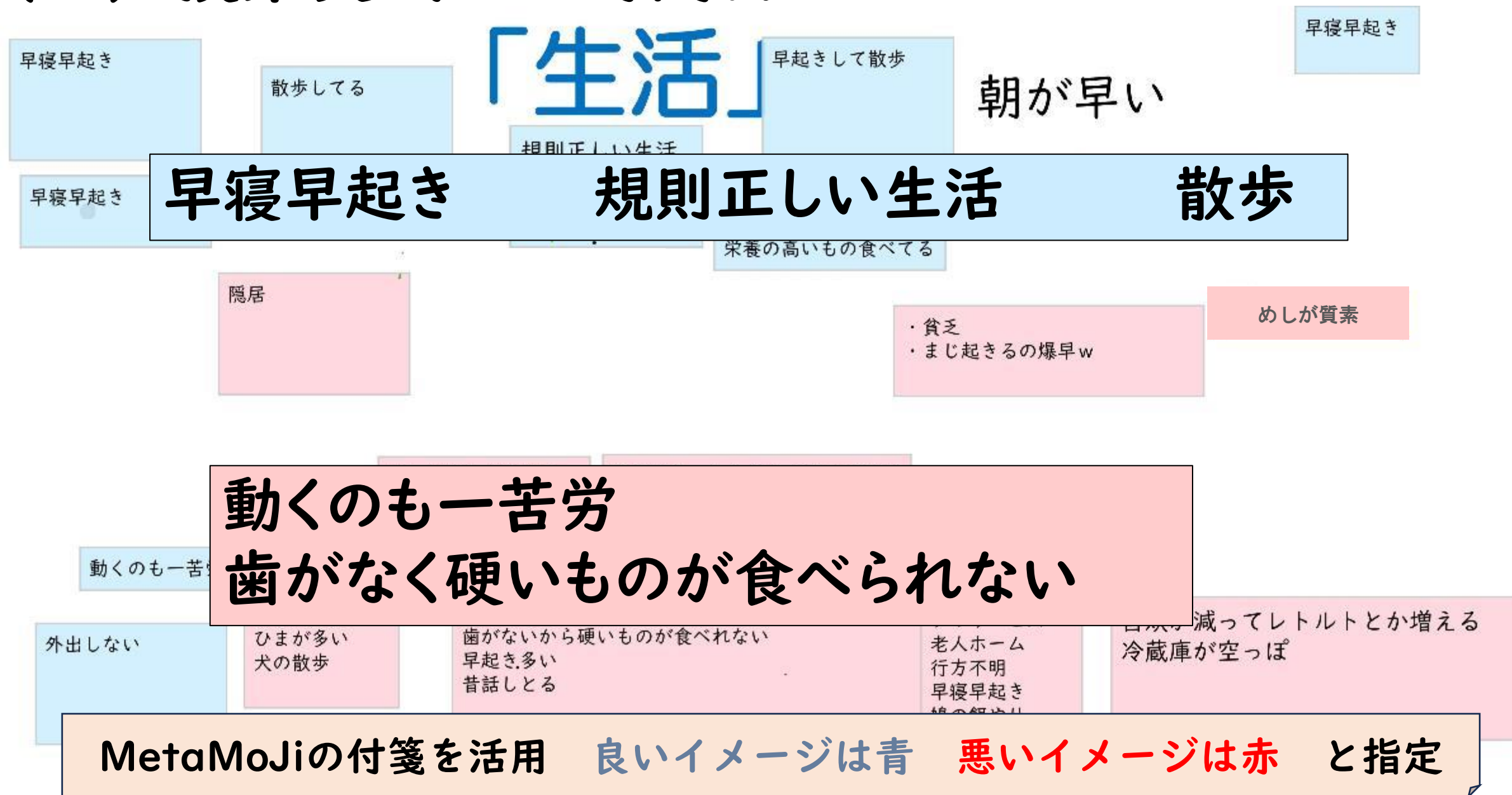
②80代祖母が一人暮らし。詐欺にあわないか心配。

どのような対策がある？

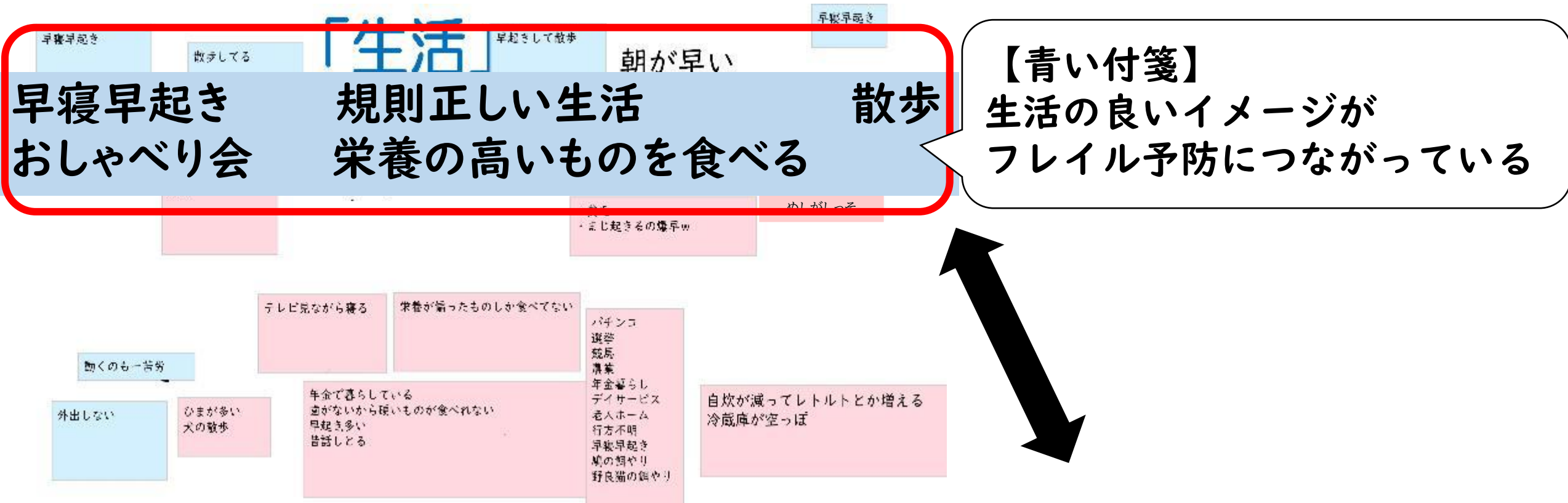


- ・ 合言葉を決める
- ・ オレオレ詐欺の講話を受ける
- ・ ボケない
- ・ 電話が来たら一回本人に確認する
- ・ 孫の声を覚える

(3) 授業実践 2時間目 「高齢者」ってどんなイメージ？



「高齢者」ってどんなイメージ？



どんなことがフレイル予防になる？

- ・ 散歩など適度な運動
- ・ 規則正しい生活
- ・ ボランティアに積極的に参加する
- ・ 毎日散歩
- ・ ラジオ体操

（３）授業実践 ３時間目

高齢者疑似体験をし、高齢になると
どんな変化が起こるかを体験

体験・見学した感想	
ゴーグル	・ぼやけが見えなかつた ぶっかる
耳栓	・きこえにくそう 何度もききなおす
ひじ・ひざの サポーター	・真、すぐ歩けなさそう ・あぶない 歩きにくい
	・足が上がらない ソコソコやすい（段差）
手袋	・細かい作業が難しい 字が書きにくい



足が上がらない
転びやすい

細かい作業が難しい
字が書きにくい



(3) 授業実践 4時間目 【研究授業】

① 介助者の
気持ち

② 認知症に
ついて

③ 認知症の人
の気持ち

④ 介助の
心得

⑤ ロール
プレイング

⑥ その人
らしさとは

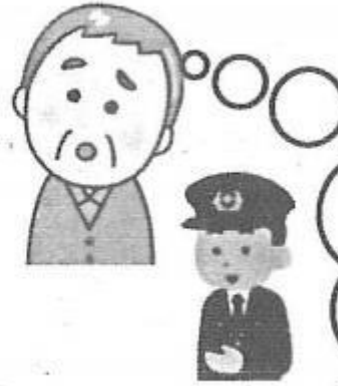
(3) 授業実践 4 時間目

事前に「二本の傘」というDVDを視聴。

妻に傘を届けようとして行方不明になり、警察に保護された夫にどのような声を掛けをしますか？



心配したわよ
一人でどこか行かない
で"



い い かげんに
して!



なんで一人で外出たの!
帰、たらいたが、たがら
心配したじゃん。

認知症の夫はどう思ったかな？

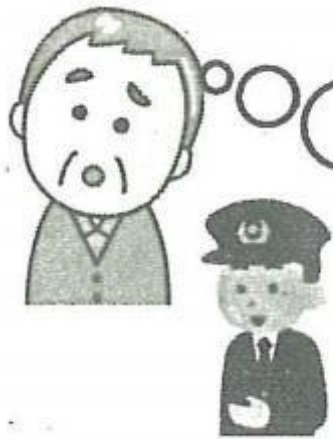
★「二本の傘」を視聴し、あなたが妻の静江さんなら何と言ってしまうだろうか…



いっかげんに
して！

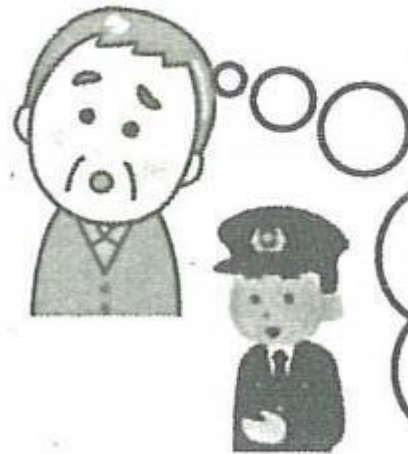


ごめんなさい
※気持ちほ忘れない



かさを届けよう
と思ったけど…
一体…なにを…

※気持ちは忘れない



怖い、不安
なんで外に出たん
だっけ

※気持ちは忘れない

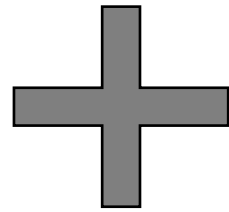
介助者の3つの心得

(認知症サポーター養成講座標準テキスト)

驚かせない

急がせない

自尊心を傷つけない



心得を意識して、
ロールプレイングを実施



笑顔



【 ロールプレイング 】

事例① あなたは認知症の祖母と同居している。
夕方になると突然帰ろうとする祖母を引き留めたい。

祖母：「あら!こんな時間!夕飯の支度があるから、私はここで失礼しますね」

事例② あなたは認知症の祖父と一緒に食事を済ませた。

祖父：「おい!晩御飯まだか!」

事例③ 学校の帰宅途中、知らないおばあさんが道に迷っている様子。

あなたは どうする?

事例① あなたは認知症の祖母と同居している。
夕方になると突然帰ろうとする祖母を引き留めたい。

祖母：「あら!こんな時間!夕飯の支度があるから、私はここで失礼しますね」

生徒の回答例 ①

あなた：「なら一緒に帰ろうか (散歩して戻る)」



生徒の回答例 ②

あなた：「お料理教えてください。一緒に作りましょう」

認知症の方が**安心できる声かけ**

事例② あなたは認知症の祖父と一緒に食事を済ませた。

祖父：「おい！晩御飯まだか！」

生徒の回答例 ①

あなた：晩御飯さっき食べましたよ、
まだお腹が空いているのなら
デザートにしますか？

生徒の回答例 ②

あなた：ちょっと待ってねーすぐできるよー

生徒の回答例 ③

あなた：さっき食べましたよー今日は〇〇でしたね

認知症の方が望む通り
ご飯を出すことが**その**
人のためではないこと
に気づかせる



事例③ 学校の帰宅途中、知らないおばあさんが道に迷っている様子。

あなたはどうする？

生徒の回答例 ①

驚かせない介助ができた

驚かせないように前から声をかける
どこに行きたいか丁寧に聞いて一緒に行く。



生徒の回答例 ②

一緒にお散歩しまして言って交番まで連れていく

ただ交番へ連れていくのではなく、安心する声かけもできた

～「その人らしさ」を大切にしたら関わり方とは？～

まずは、その人によりきってあげて、介取者も嫌な思いをせず
認知症と向き合い、近くの人がその現状に向き合うのではなく、
介取者も苦しんでもらわないために、社会として向き合う。



その人が、認知症前の生活を知ることで、人生観が少し変わった
りするので、それを知った上で同居をする。町で老人が困ってい
たら是非手伝っていたら、人ごとと思わず自分でできるはんにで助ける

相手も否定しないので肯定する。認知症じゃなくても、否定されたら嫌
だし、肯定されたら嬉しいわ。言葉とか、声でいいから一ちめだけじゃなく
いかけて、優しく聞いて、自分が、それが、嬉しいように接するのでも大切。

学習後のあなたなら、旦那さんに何と声をかけますか？

学習前：黒

学習後：赤



何してるの！

金届けようとしてくれてありがとう。
お家に帰るわ。

認知症の夫を責めた言葉が、
学習後には、優しい内容に
変わった



毎にレレ外で仕事してるの？

・家にはやくかえりましょう。
なぜ忙しいのうから。



もう！なにしてるの

どうしたの？かえもってきてくれて

ありがとうね

(3) 授業実践 5 時間目

クラス全員で記入したが、みんなあまりわかっていないことが分かった

公的年金制度について知っていることを書き出そう

受け取る関係

支払う関係

若い人たちが払っている。

税金を65歳まで払う

若い時に払う

若い時に払って

若い時に金払って
you know im saying
like じいちゃんになるときにラクする

国民年金20歳から60歳

若い人たちが払ってる

i don't care

ない！

何もないです

入ってる保険
払ってた金額による

戦争出たら高い

公務員が高い

お金
若者が払う税金から

65歳以上の人
お金もらえる

お金

税金の一部から
らきっている

money

お金

税

お金

二か月に一回お金がもらえる

(4) 地域活動 ～家庭クラブ・Sクラブ～

車いす体験

車いすの使い方を社会福祉協議会の方から教えてい、校内を巡回。



認知症対応型

グループホーム交流会

さくら悠輪苑へ行き、レクリエーション。
施設長の野田様より、話を伺いました。



4 まとめと今後の課題

【成果】

- ・高齡期の生活がイメージだけで、漠然としていたことがわかった。
→知る、理解する、関心をもたせることで、具体的に高齡期を想像し、
自分の高齡期へ結びつけることができた
- ・具体例から自分の大切な人や身内の人への対応を通して、今の自分に何ができるか考えさせた。
- ・ICTを活用し、視覚的に伝わる授業、多くの生徒意見の共有ができた。

4 まとめと今後の課題

【課題】

- ・学校全体でICTを活用しないと生徒は慣れない。
- ・グループ学習時のタブレットの活用方法を考える必要がある。
- ・「自分事と捉える」とは、
 - 今の自分に何ができるかという自分事
 - 将来の自分についてという自分事

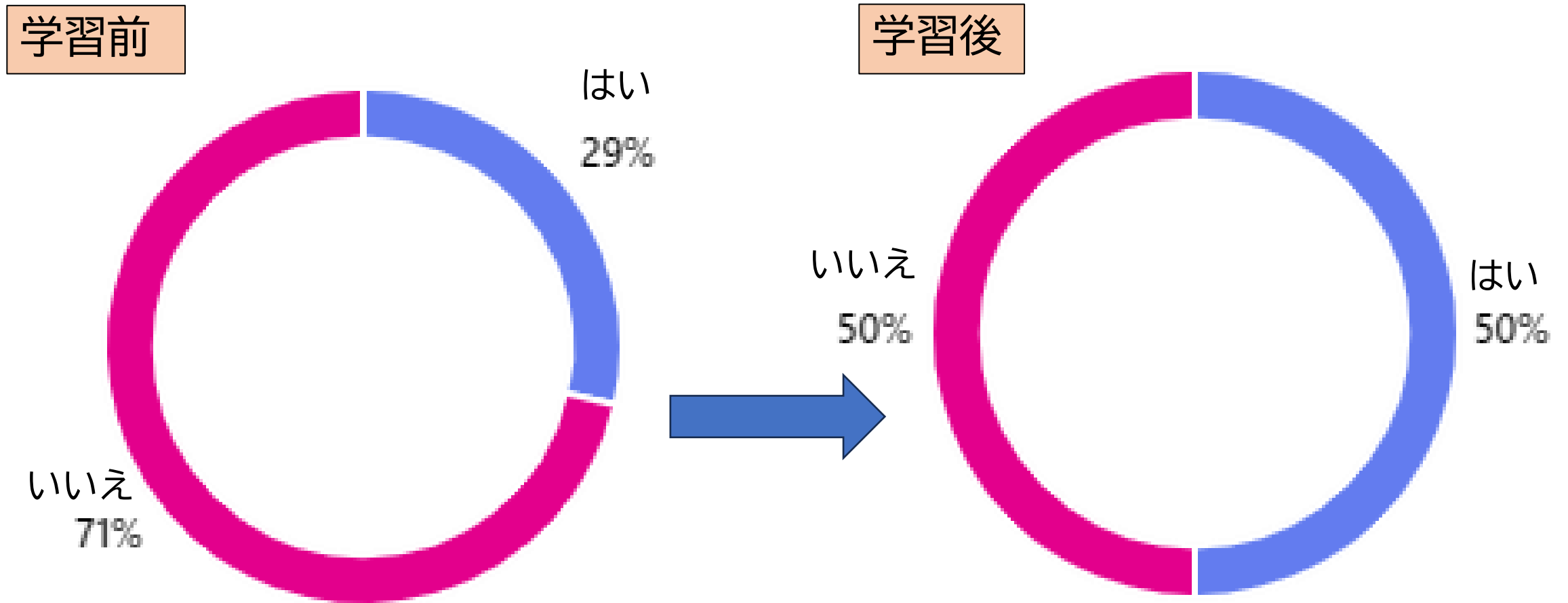
4 まとめと今後の課題

【評価】

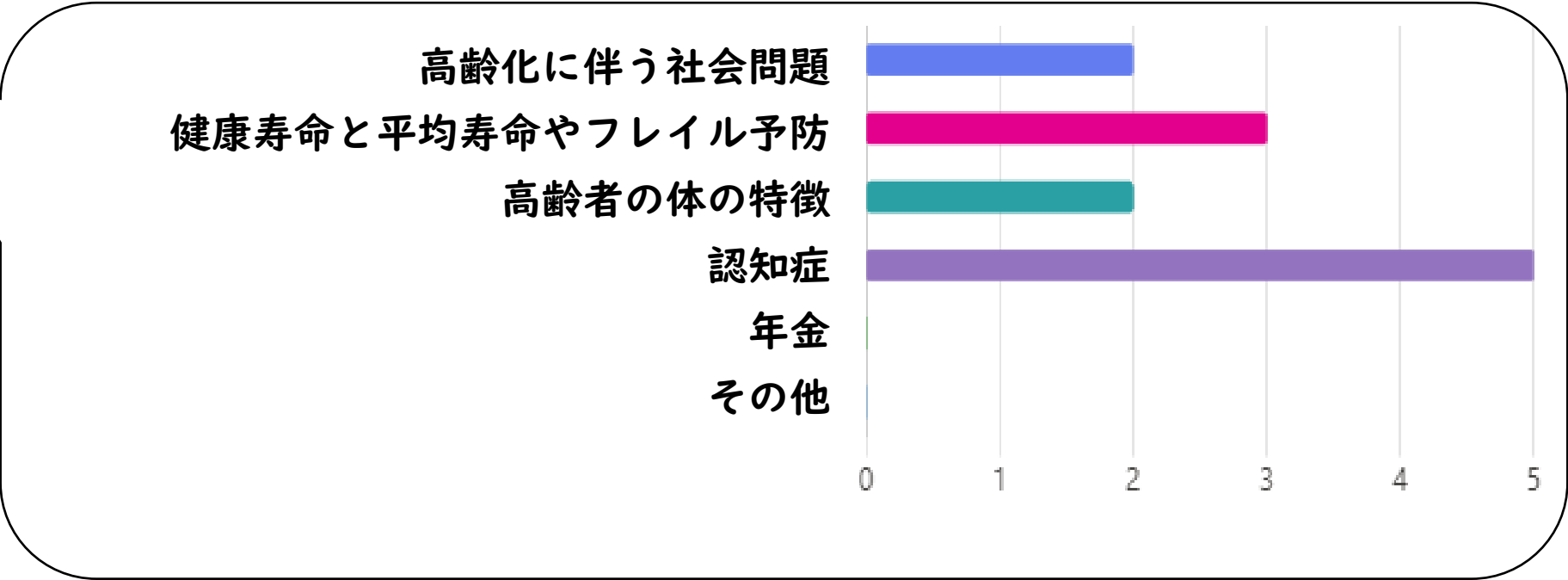
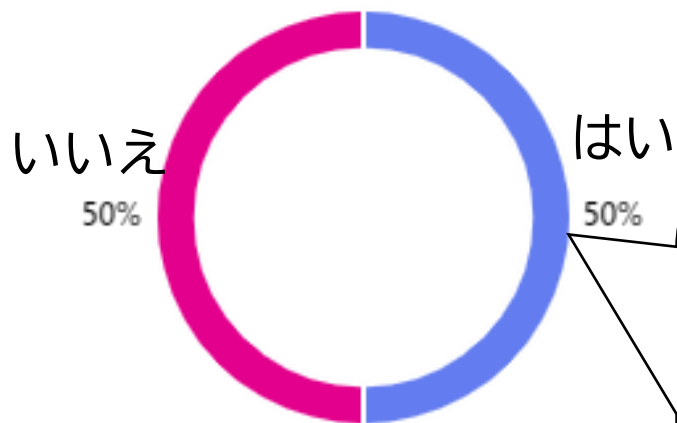
	学習活動における具体の 評価規準 (B)	「十分満足できる」と判断される状況 (A)	「努力を要する」と判断される状況 (C)
評価	評価規準【思考・判断・表現】 認知症を正しく理解し、家族の支援について考えている。 69%	認知症を自分事として捉え、認知症になった人とどう関わったらよいか、具体的に考えられている。 31%	自分事として捉えることができず、前向きに取り組めない。 0%
生徒の状況	真っ先にその人のことを否定せず、その人の気持ちを考えて話したりする。	気持ちに寄り添って行動し、一人だけでは介助者が疲れてしまうため、周りの人や地域の人が見守ったり声をかけたりする。	なし

4 まとめと今後の課題 (4) 生徒の変容

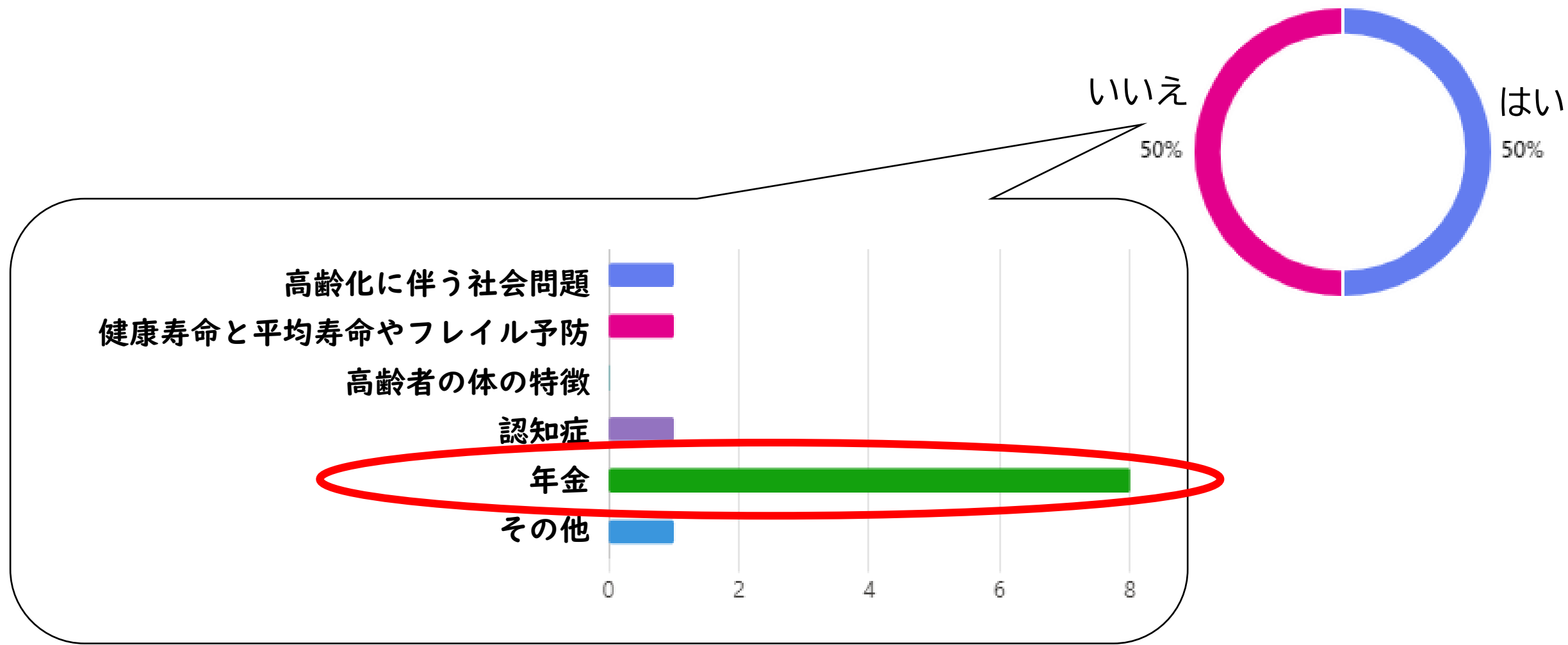
高齢期について関心はありますか？



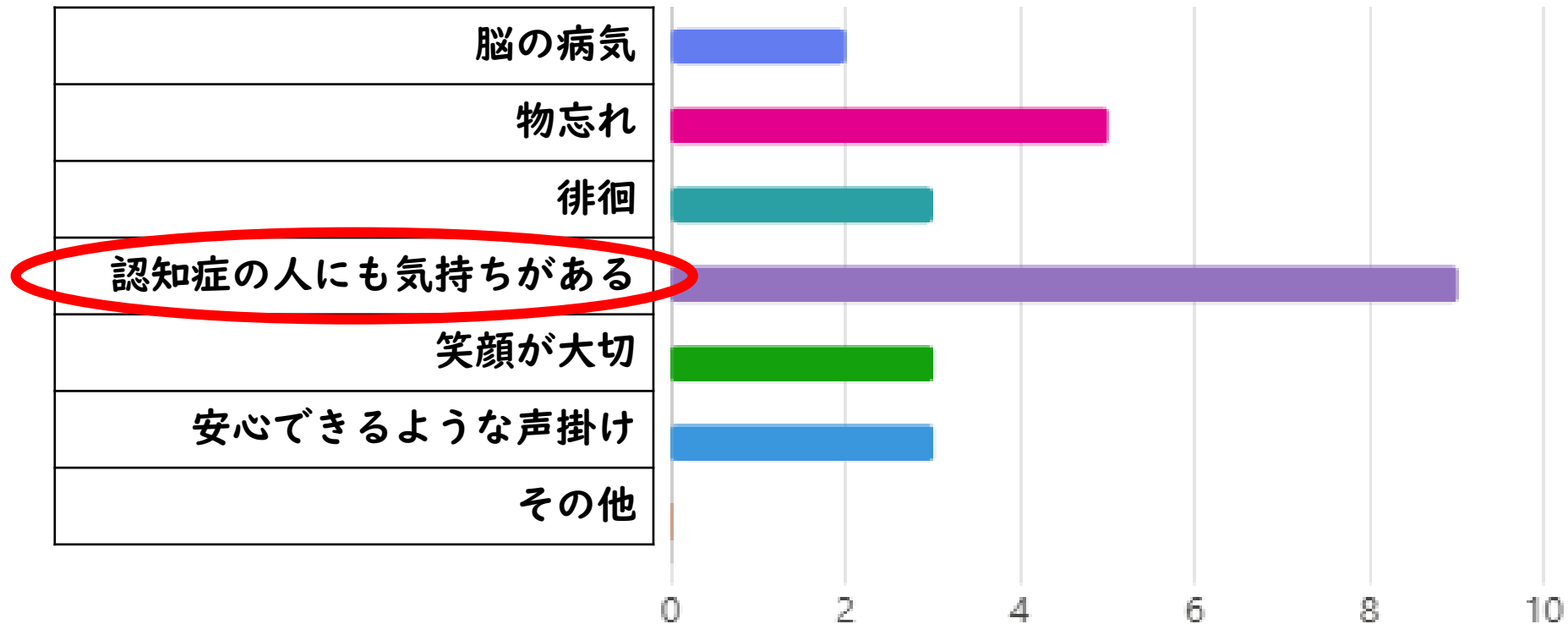
高齢期について関心があると答えた生徒の興味があった内容



高齢期について関心がないと答えた生徒の興味があった内容



認知症について学習し、記憶に残ったものを1つ選んでください。



高齢者は、その人の身内で色々すると思っていたけど、社会全体が高齢者を支えていって将来はどうなるんだろうと思っていたけど、将来の不安が少しとれた

高齢者は、その人の身内で色々すると思っていた。
社会全体が高齢者を支えていって将来はどうなる
んだろうと思っていたけど、（学習を終えて）
将来の不安が少しとれた

最初には認知症になったら老人ホームに行くしかないと思って
たけど、訪問介護などの色々なサービスがあることを知れたり、
高齢者のしんどいところも知れて良かった。



私はこの学習をする前まで、高齢期はのんびりくらすと思っ
ていましたが、でも年金や認知症など、高齢期にはいる
前に考えなければいけない問題があるとわかりました。私は
311をきっかけとして高齢期をむかえたのです

高齢期はのんびり暮らせない。
**年金や認知症・高齢期に入る前
に色々考えなくては。対策して、
高齢期を迎えたい。**